



第85期 株主通信

2018年4月1日 ▶▶ 2019年3月31日



株式会社 三社電機製作所

証券コード：6882

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
平素よりご高配を賜り
心より厚く御礼申し上げます。

代表取締役会長 四方 邦夫

代表取締役社長 吉村 元



2019年3月期における当社を取り巻く事業環境は、年度後半から米中貿易摩擦が中国経済に大きな影響を与え、設備投資に先延ばし等の動きが顕著となりました。

このような状況のなか、当社グループの半導体事業は、年度後半から受注状況が悪化いたしました。電源機器事業は、業種・用途により差があったものの、堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は243億6千9百万円（前期比2.8%増加）、営業利益は18億3千3百万円（前期比24.4%増加）、経常利益は18億4千万円（前期比21.9%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億3千9百万円（前期比25.7%増加）と増収増益の決算となりました。

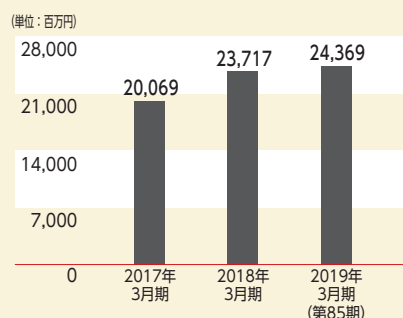
当社グループは、「社会に価値ある製品を」を経営理念に掲げ、これを実現するため2019年3月期から2021年3月期までの中期経営計画を策定いたしました。初年度となる2019年3月期は、大型電源機器の海外向けが伸長するとともに、小型カスタム電源が好調に推移いたしました。また、子会社の三社ソリューションサービスが展開する保守サービスビジネスが軌道に乗り始めております。

今後とも、三社電機グループは新たな企業価値を創造するため、全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

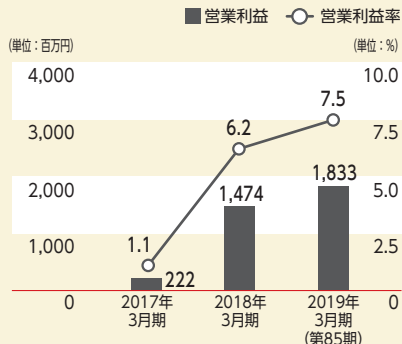
第85期 ハイライト

Highlights

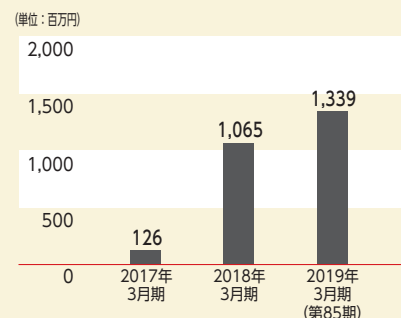
売上高



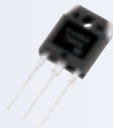
営業利益／営業利益率



親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント別業績

半導体事業 売上高 6,816 (2.9%↓) 百万円 セグメント利益 452 (31.1%↓) 百万円	パワーモジュール		5,158 百万円	前期比増減 1.7% ↓
	ディスクリート他		1,657 百万円	前期比増減 6.3% ↓
電源機器事業 売上高 17,553 (5.1%↑) 百万円 セグメント利益 1,381 (69.0%↑) 百万円	一般産業用		2,806 百万円	前期比増減 6.6% ↑
	金属表面処理用 溶接機・切断機		4,554 百万円	前期比増減 3.2% ↓
	光源用・調光用		1,437 百万円	前期比増減 0.9% ↓
	その他インバータ (PV・UPS等)		1,531 百万円	前期比増減 3.9% ↓
	上記以外		7,223 百万円	前期比増減 14.3% ↑

業績ハイライト

半導体事業

当事業におきましては、上期はパワーモジュールでは商用エアコン向け、FA機器向け、各種インバータ向けなど、また、家電向けのパワーディスクリートが堅調に推移いたしましたが、下期に入り米中貿易摩擦等の影響により受注状況は急速に悪化いたしました。その結果、当事業の売上高は68億1千6百万円(前期比2.9%減少)となりました。セグメント利益は、原材料価格が上昇したことが圧迫要因となり、4億5千2百万円(前期比31.1%減少)となりました。

電源機器事業

当事業におきましては、金属表面処理用電源がスマートフォン業界の設備投資抑制の影響を受けて厳しい状況のなか、自動車など他の業界向けへの売上をカバーしきれず減収となりました。しかし、主に一般産業用電源の分野で、リチウムイオン電池の電極で用いられる銅箔の生成用電源や、電解コンデンサ用アルミエッチング電源等の素材の加工用電源が売上を伸ばしました。また小型の各種組込電源も堅調に推移し、当事業の売上高は175億5千3百万円(前期比5.1%増加)となりました。セグメント利益は、増収に加えて中国子会社の生産性が大幅に向上し、13億8千1百万円(前期比69.0%増加)となりました。

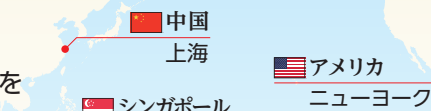
株主の皆様への利益配分について

当社グループは、株主の皆様への利益還元をもっとも重要な経営課題のひとつとして認識し、配当性向30%を目途に安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、1株につき18円とさせていただきます、中間配当10円とあわせ年間配当金は28円となります。

1株あたりの 配当金	中間	10円
	期末	18円
	合計	28円

アメリカ・中国・シンガポール

三社電機グループの海外現地法人をご紹介します。
三社電機グループは、「Global Power Solution Partner」を
目指して、グループ一丸となって
取り組んでまいります。



アメリカ U.S.A.

**サンレックス
コーポレーション**

ニューヨークを拠点にして北南米地域
のお客様に半導体と電源機器を販売
しています。半導体では次世代デバイ
スのSiC-MOSFETを、また、電源機器で
は映写機用光源電源のほか、溶接機や
金属表面処理用電源の販売に注力して
います。



中国 China

**三社電機(上海)
有限公司**

2018年4月に新オフィスに移転しまし
た。上海・北京を拠点にして、中国全
域のお客様にパワー半導体を販売して
います。各種インバータ向けや商用エ
アコン向けなどが主力商品ですが、さ
らにSiC-MOSFETなど新しいデバイスの
販売にもチャレンジしています。



シンガポール Singapore

**サンレックスアジア
パシフィック PTE. LTD.**

シンガポールを拠点にして、東南アジア・
南アジア・オセアニアのお客様に半導体
と電源機器を販売しています。半導体は、
産業向けだけでなく、白物家電等民生
向けの販売に注力しています。また、各種
電源機器のサービス・メンテナンスにも
積極的に取り組んでいます。



こんなところに
三社電機
VOL. 2

電力変換技術を活かし 新しいエネルギー社会に貢献。

関連するSDGs



水素エネルギーは利用時にCO₂(二酸化炭素)を排出しないことから、地球
温暖化対策の切り札として期待されています。水素エネルギーに代表される
固体酸化物形燃料電池は、燃料電池の中でも発電効率が高く、小型化や低
コスト化が期待できるなどの特長があります。三社電機製作所は、固体酸化
物形燃料電池のパワーコンディショナ開発にも積極的に取り組んでいます。

パワーコンディショナとは
太陽光発電システムや家庭
用燃料電池から発電された
直流の電気を家庭や工場な
どの環境でできるように
交流の電気に変換する機器。

当社製品の特長

- 業界トップクラスの変換効率97.5%以上を実現
- 小型・高信頼性・低損失の
当社SiC-MOSFETモジュールを搭載

導入事例

2018年1月から花博記念公園鶴見緑地内の咲くや
この花館において、国立研究開発法人新エネ
ルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業
「固体酸化物形燃料電池を用いた業務用システムの
実用化技術実証」が行われており、そこに業務・産
業用固体酸化物形燃料電池発電装置が設置され、
当社のパワーコンディショナが採用されています。



燃料電池対応
パワー
コンディショナ



SiC-MOSFET
モジュール

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(Sustainable
Development Goals:SDGs)とは、
2015年9月に国連加盟国が採択した
2030年までに持続可能な世界を実現す
るための17の目標です。

三社電機グループは、これらの目標達成に
事業を通じて貢献してまいります。

経営理念

社会に価値ある製品を

常に社会の求める製品の創造につ
とめ よりよい品質によって 社会
の発展に貢献する

企業に利益と繁栄を

常に衆知を集めて企業の繁栄をめ
ざし 利益の確保につとめ 社会的
責任を全うする

社員に幸福と安定を

常に新たな英気をもって未来をみ
つめ 信頼と協調によって 社員の
幸福と安定したくらしをはかる

会社概要

2019年3月31日現在

商号	株式会社三社電機製作所
本社	大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
設立	1948年(昭和23年)4月28日
資本金	27億7,427万7,500円
従業員数	(連結) 1,414名 (単体) 696名

事業所

- 国内本社 大阪市東淀川区西淡路3-1-56
東京支店 東京都台東区東上野1-28-12
中部営業所 愛知県名古屋市中区泉1-23-30
九州営業所 福岡市博多区博多駅東2-15-19
北陸事務所 石川県金沢市彦三町1-2-1
滋賀工場 滋賀県守山市勝部町452-1
岡山工場 岡山県勝田郡奈義町柿1741
- 海外 ヘルシンキ支店(フィンランド)
ソウル支店(韓国)
台北支店(台湾)

子会社

- 国内 株式会社 三社ソリューションサービス
株式会社 三社電機イースタン
- 海外 サンレックスコーポレーション(アメリカ)
サンレックスアジアパシフィックPTE. LTD.(シンガポール)
サンレックスリミテッド(香港)
三社電機(上海)有限公司(中国)
三社電機(広東)有限公司(中国)
東莞伊斯丹電子有限公司(中国)

株式の状況

2019年3月31日現在

発行可能株式総数	42,600,000株
発行済株式の総数	14,950,000株(自己株式807,120株を含む)
株主数	6,547名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	(1) 定時株主総会、期末配当 毎年3月31日 (2) 中間配当 毎年9月30日 その他必要あるときは、取締役会の決議により あらかじめ公告いたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物の送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031(受付時間 土・日・祝祭日を除く9時~17時)
(インターネット) ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に、「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載します。 (https://www.sansha.co.jp)。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

ホームページもご覧ください

当社ホームページ内「株主・投資家の皆様へ」では企業情報や決算情報を掲載しています。
<https://www.sansha.co.jp/ir/>



株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621
URL <https://www.sansha.co.jp/>

